

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-(1)	・地域密着型サービス(グループホーム)としての意義を踏まえた独自の事業所理念を作成する必要がある。	・独自の事業所理念を作成する。	・年次の事業計画を立案する中で、施設の特徴を生かした事業所理念を作成する。	10ヶ月
2	4-(3)	・運営推進会議の中で、事故やヒヤリハット・困難事例なども議題に入れ意見交換し、運営に生かしていく	・定期的開催される会議の中で、事故・ヒヤリハットの報告や現場の課題等も議題に上げていく。	・会議の報告書に、事故・ヒヤリハット報告の統計・分析内容を加え、双方向の意見交換を行う。	10ヶ月
3	33-(12)	・入居者・ご家族に入居時に説明する、入居者が重度化した際の対応や重度化に伴う意思の確認書が作成されていない。	・入居時の重要事項説明と合わせて説明し、意思確認が出来る確認書を作成する。	・入居者の入居後に想定される、身体的・精神的な変化の可能性と、考えられるリスク等を含めた説明書を作成する。	10ヶ月
4	35-(13)	・防災計画に基づいた、様々な災害に対応した防災訓練の実施と、災害発生時の連携体制作りが必要。	・避難を想定した防災用品の確保と、定期的点検の実施。緊急連絡体制と災害時の対応を周知する。	・防災用品の準備補充を行い、避難経路の状況確認と合わせて定期的に点検を行っていく。災害時のマニュアルに沿った対応がスムーズに出来るように職員に周知する。	10ヶ月
5	40-(15)	・職員と入居者が一緒に食事や会話を楽しむ機会を多くしてほしい。・入居者の希望を取り入れた献立の提供をして欲しい。	・職員と入居者が一緒に食事やお茶をする機会を持つ。・2回/月提供している選択食の他に独自の食事やおやつ作りを行う。	・可能な限り、食事やお茶の時間に職員も一緒に食べながらコミュニケーションを図っていく。・1回/月程度行うユニットでの誕生会や催し物に合わせて、入居者の希望するメニュー作りを一緒に行う。	10ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。